

2017年度

北京師範大学留学報告書

実習先：北京師範大学大学

実習期間：8月28日（月）～1月9日（火）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016113
丸山 莉奈

目次

| | | |
|---|-----------------|---|
| 1 | 研修先及び実習期間 | 3 |
| 2 | 研修先概要 | 3 |
| 3 | 研修目的 | 3 |
| 4 | 研修内容 | 4 |
| | 4 - 1 研修のスケジュール | 4 |
| | 4 - 2 研修の詳細 | 5 |
| 5 | 所感 | 6 |
| 6 | おわりに | 7 |
| | 謝辞 | 7 |

付録

| | | |
|--|------|---|
| | 研修日誌 | 8 |
|--|------|---|

1 研修先及び実習期間

研修先：北京師範大学 漢語文化学院

研修期間：平成29年8月28日（月）～平成30年1月9日（火）

※帰国は1月9日（火）

2 研修先概要

(1)大学について

北京師範大学は、中国初の師範大学として設立され、教育学の分野で活躍する人材を多く輩出する大学である。中国の大学ランキングでは常にベスト10に入るエリート大学であり、師範系では中国トップクラスの大学である。外国人留学生の受け入れは1965年から始めている。そのため、本科教科のほかに、対外漢語教育も優れている。在校生は学士課程8500余名、修士課程9000余名、長期留学生2000余名に及ぶ。留学生が多いことから、北京師範大学は留学生寮を充実している。5つの留学生寮があり、12タイプの部屋が用意されている。すべての寮でインターネットを使用することができ、共同のランドリールームやキッチンなども完備している。校内には複数の食堂があり、バリエーションも豊富である。日本料理専門の店や、イスラム教の食事メニューなどを提供する食堂もある。大学中央に位置する図書館には、357万冊の蔵書が収められている。コンピューターの利用もできる。利用時間は7時から22時で、どの時間帯も学生であふれている。

(2)大学で行われている教育について

北京師範大学は多くの留学生を受け入れていることに特徴がある。1クラスの人数は15人～18人になるように編成されている。クラス分けのテストで自分の能力にあったクラスに入ることができるため、無理なく勉強に励むことができる。また、少人数クラスのため、集中できる環境で学ぶことができる。リーディング、リスニング、スピーキングに分かれ、90分の授業を2コマ受けた。

また3教科のほかに中国文化を学べる授業が週に1回用意されており、切り絵や水墨画を学ぶこともできた。

3 研修目的

今回の研修の目的は、中国語能力の向上と異文化に触れることであった。HSK試験や中国語能力検定などの試験のスコアをあげることである。実際、中国留学中にHSK試験に参加できる機会もあった。試験の点数アップを目指すのはもちろんのこと、生きた中国語を学ぶ必要があるとも考えた。具体的には、スピーキング力である。そのために外国人留学生とのイベントにも積極的に参加することが大切であった。そして、日本にいただけでは高めることが難しい能力は何か。それを考えたとき、浮かんできたのはリスニング力であった。リスニングは日本人が苦手意識を持ちやすいといわれている。そこで、現地の人々、中国人学生な

どと触れる機会を多く持つことでこの目的を達成しようと試みた。中国語の発音は留学生にとって難しい。そこでネイティブスピーカーにも聞き取りやすい、そんな中国語を目指した。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

| 月 | 日 (曜日) | 午前 | 午後 |
|----|--------|----------------|-----|
| 8 | 28 (月) | 到着 | 入寮 |
| | 31 (木) | クラス分けテスト | |
| 9 | 1 (金) | 留学生開会式 | |
| | 4 (月) | 授業開始 | |
| | 9 (土) | 中日交流会 | |
| 10 | 1 (日) | 内モンゴル旅行 | |
| 11 | 2 (木) | 中間テスト | |
| | 5 (日) | 天津旅行 | |
| | 7 (火) | 河南修学旅行 | |
| 12 | 25 (月) | クラスでクリスマスパーティー | |
| 1 | 2 (火) | 期末テスト | |
| | 5 (金) | | 卒業式 |

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) クラス分けテスト

授業が始まる前に自分のレベルにあったクラスを編成するために行った。

ii) 留学生開会式

留学生のこれからの予定や困った時にどうするかなど説明があった。

iii) 中日交流会

北京師範大学の日本語を専攻している大学2年生と交流した。

iv)内モンゴル旅行

内モンゴルまでバスで向かい、ゲルに泊まり乗馬体験やラクダに乗った。

v)天津旅行

中日交流会で親しくなった中国人の友達に案内してもらい、天津に行った。

vi)河南修学旅行

クラスメートと一緒に修学旅行に行った。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)HSK や中国語能力検定のスコアアップ

この報告書を執筆している時点で、帰国してから検定を受験できていないため、検定そのものについては記述を差し控える。しかし、リーディング、スピーキング、リスニング能力すべてにおいて、前期よりも力が付いた。

ii)スピーキング力の向上

上で示したように、中国人や外国人との交流の成果でスピーキング力が付いたといえる。

iii)リスニング力の向上

リスニングの授業の予習復習を怠らずやったこと、中国人との交流の機会に積極的に参加したことから、リスニング力が付いたといえる。

6 反省・課題

4か月という期間は、長いようで短い期間だった。だが、その中で目的を達成し、多くの人と交流できたことを非常にうれしく思う。ここで、中国語の勉強をおろそかにせず、踏ん張っていきたい。日本にいただけでは培うことができなかった視点を大事にし、これからも深めていきたい。

謝辞

今回、北京師範大学にて、熱心に指導して下さった3人の先生方、また日本人会の皆様、その他大勢の関係者の皆様に感謝申し上げます。そして佐藤若菜先生、區先生、学務課の方々にも感謝申し上げます。最後に、本学からいただきました奨学金により、有意義な留学が送れましたことを、心から感謝いたします。

付録：研修日誌

| |
|--|
| 10月1日 |
| 内モンゴル旅行 |
| ツアー |
| 内容 ・日程 2泊3日 ・1日目 草原で乗馬体験、ゲルに滞在 ・2日目 砂漠へ移動 ラクダに乗る ・3日目 恐竜博物館を見学 |

移動の所感

日本人向けのツアーであったため、本学生徒4人が参加した。移動時間が倍以上かかるトラブルにも見舞われたが、内モンゴルの文化に触れることができた。

| |
|--------------------------------------|
| 11月2日～3日 |
| 中間テスト |
| 担当 漢語文化学科の先生方 |
| 内容 ・2日 リーディング、スピーキング ・3日 リスニング |

中間テストの所感

緊張した中で迎えたテストだったが、授業の予習復習をしっかりとっていたため、よい点数を取ることができた。

| |
|-----------------|
| 11月7日～11月12日 |
| 河南省修学旅行 |
| 漢語文化学院の先生方 |
| 内容 ・1日目 寝台列車 |

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・2日目 寺に行く・3日目 博物館に行く・4日目 表演を見る・5日目 見学・6日目 山登り |
|---|

所感

長い修学旅行であったが、少林寺拳法のパフォーマンスを見ることもできた。クラスメートと行動を共にしたため、仲良くなることができた。

| |
|-----------|
| 1月2日～1月3日 |
|-----------|

| |
|-------|
| 期末テスト |
|-------|

| |
|-----------|
| 漢語文化学院の先生 |
|-----------|

| |
|----|
| 内容 |
|----|

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・2日 リーディング、スピーキングテスト・3日 リスニングテスト |
|---|

所感

中間テストと同じ形式だったが、中間テストよりも範囲が広がった。普段から予習復習をしていたため、特に難しくもなく、無事に終えることができた。